

Design デザイン

Master 修士 [美術研究科]

Name 石川 菜々子  
上野 航祐  
江坂 由莉  
汪 力  
晏 瀾珊  
蔣 旭強  
杉本 真由子  
張 シキ  
土田 侑美  
野地 祐里子  
春木 孝太



石川 菜々子  
ISHIKAWA Nanako

まぬけの研究所

ミクストメディア（インスタレーション）

可変

まぬけは本人にとって恥ずかしく、嫌なものかもしれません。しかし客観で見ると、そこに生まれるのは、マイナスの感情ではなく、可愛さ、微笑みさ、親近感といったニュアンスではないか。これらを知ることで、自分や他人の失敗に寛容になり、余裕のあるおおらかな社会の実現に貢献するのではないのでしょうか。

vena,  
a typeface  
inspired by  
the shape of  
blood vessels  
and flows.



上野 航祐

UENO Kosuke

vena

Typeface



**江坂 由莉**  
ESAKA Yuri

Cups

磁器、樹脂

φ 84 × H90 mm

重さと形が全て同じ4種類のコップ。  
重心にだけ、それぞれ異なる偏りを持たせた。  
そこから生まれる体感の差からデザインの可能性を考える。



汪力  
WANG li

グラフィックシンボルとしての  
呪符のデザイン研究  
—道教の「呪符」造形にみる表現

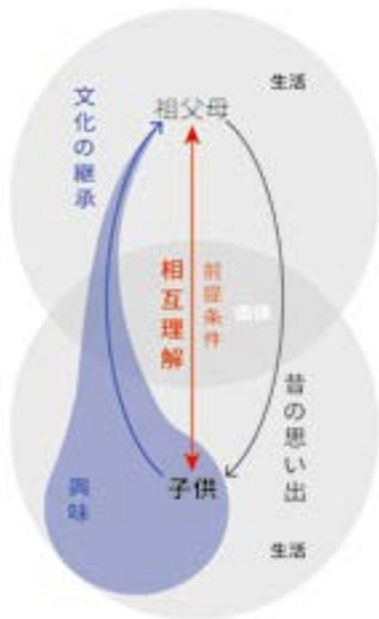
Web サイト

古典的な呪符の歴史と、様々な造形についての調査を通じて、新たな研究の着想を得ました。それは、混乱した呪符の造形ルールを、整理し統一することによって、造形原理が明確な、現代的呪符のありかたを再構築することです。



晏 瀾珊  
Yan LanShan

産業遺産のリノベーション  
二重性を内包する東山給水塔



ハイパー盆踊り



三途の川を渡っての彼岸



天国への祈り



ハイパーお墓参り



蒋旭強

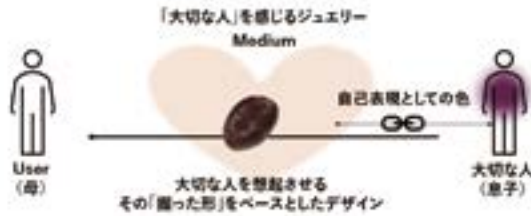
JIANG Xuqiang

世代間コミュニケーションを  
生み出すための研究  
—「お盆」のインスタレーションの提案

祖先や親族との繋がりを意識しやすい年中行事の「お盆」をモチーフとしたインスタレーションを提案。その体験によってZ世代の意識を変え、年長者とのコミュニケーションを促すきっかけを作る。

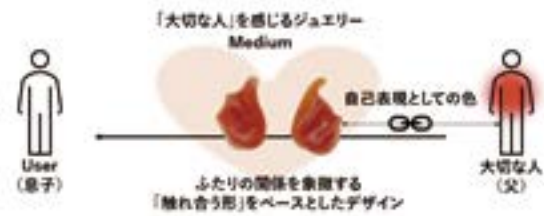


## The Piece of Soul -魂の具象-



タイトル：くに  
サイズ：H 54mm x W 34mm x D 25mm

## The Joint of Souls -ふたつの魂をつなぐ形-



タイトル：頬を包み込む形  
アイテム：イヤリング  
サイズ：H 63mm x W 38mm x D 35mm

杉本 真由子  
SUGIMOTO Mayuko

大切な人を感じるジュエリー  
- Contemporary Sentimental Jewellery -

Pâte de verre

大切な人の存在を感じられるものを、身につけたい、傍に置きたい、残したいという強い気持ちに答え、ユーザーに幸福感をもたらす Contemporary Sentimental Jewellery としての「大切な人を感じるジュエリー」をデザインし提案する。そうすることで、現代のセンチメンタルジュエリーをより豊かにしていくことを目的とした。





張シキ  
ZHANG Zhiqi

This is a pair of Levi's

Made passes, style remains.

拓本、紙

H1030 × W707 mm × 2点、H707 × W500 mm × 2点  
H500 × W353 mm × 8点、H353 × W250 mm × 6点



土田 侑美  
TSUCHIDA Yumi

ZOO っと BOUSAI

ビジュアルコミュニケーションを用いた楽しく学べる防災知育を制作

ミクストメディア  
可変

自分たちが住む「まち」について書いて話す絵馬

## まちづくり絵馬

「まちはどうなって欲しい」  
まちに対して目録書いていることを絵馬を  
通して表に出してあげる。それぞれの思いや  
気づきからより良いまちの姿が見えてくる。



### 1 絵馬を書く

生活している中で「まちに対して、ま  
ちこうなって欲しい」と思っていることを  
絵馬に書き出す。

例えば、「あの道が窄くて危ないから車対面  
のバス」「公園の子供を遊ばせられるベンチを  
キッズが遊ばせたい」「地域の祭りまちがい  
なけるかなど」。



### 2 話す

聞き手役の人と「絵馬  
になぜそう書いたのか」  
を話す。

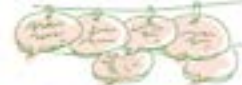
じっくり話してやることで、  
誰の気も通じやすいセ  
ット。



### 3 見てみる

自分の絵馬を掛けたら、他の人が書いた  
絵馬も見でみる。

自分も他者の気づきから学ぶことから、更にまちへ  
の考えが広がっていく。



### 4 記録

絵馬は全てインスタグラム「電子  
絵馬掛け」へ投稿される。毎日登  
録されたり、誰から新しく誰か  
んだことがあれば、「まち絵馬」で  
投稿してみよう。



### 5 分析

webサイト「まちづくり絵馬」では、まちごとにどんな  
高があったのかなど、傾向や割合を数値でいく。  
他の地域での様子も一覽してみることで、驚い  
なったら聞いてみよう。



野地 祐里子

NOJI Yuriko

まちづくり絵馬

ミクストメディア

自分の住んでいるまちについて、日頃思っていることを表明し、またそれ  
を同じまちの人同士で共有するためのコミュニケーションツール。どんな人  
でも気軽に参加でき、無意識に押さえて入っている気づきを解放できないかと模  
索しました。



**春木 孝太**  
HARUKI Kota

けびたり

和紙

H65 × W65 × D70 mm - H75 × W75 × D80 mm

和紙を裂くとふわっと長い繊維が現れる。

その繊維に触れるとしっかりと柔らかく、実家で飼っている猫の手触りが思い起こされた。繊維から和紙を愛着してみる。